

令和7年度 公民館主催事業計画書

公民館事業計画における基本方針（令和6年度～10年度）

- 1 開かれた公民館
- 2 問いかける公民館
- 3 地域とともに

公運審提出日 令和7年7月16日

	実施館	事業名	基本方針	期間・回数	事業概要	主な講師等
1	田無	子育て中の人のための講座（保育付き） 絵本とわらべうたで楽しい子育て ～あなたもわたしもOK、ありのままのわたしの子育て～	1 2	9月30日から 12月2日 火曜日 10時から12時 全10回	絵本やわらべうたを通して、母と子の関係性を見つめ自分自身の子育てを見直す機会とする。 交流分析を学ぶことで、自分自身を見つめ直し、より良いコミュニケーションの方法を考え直す機会とする。	藤井 由利（社会福祉士、公認心理士） 西村説子（NPO法人CAPセンターJAPAN 就学前プログラムトレーナー） 福岡淳子（保育と人形の会、日本と子どもの本研究会会員、元小学校教諭、学校司書）
2	田無	子育て中の男性と子ども対象講座 小学生親子料理講座 子育て中の男性あつまれ♪パパっと、ごちそうレシピ	1	9月23日（祝・火） 10月13日（祝・月） 11月3日（祝・月） 12月7日（日） 9時30分から 12時30分 全4回	小学生や子育て中の男性に「食」の大切さや料理の楽しさを知ってもらう。 家庭では体験しづらい子育て中の男性と子の「料理」を通してのコミュニケーションづくりの場を提供し、家庭での父親の子育て参加を促す。	吉田朋子（管理栄養士、キッズキッチンインストラクター） アシスタント講師 大場満枝（栄養士、子ども料理教室主宰）

3	芝久保	身近な問題を考える講座（保育付き） みんなでトークforピース	1 2	10月2日から12月4日 木曜日 10時から12時 全10回 ※保育説明会 9月25日（木曜日）	戦後80年となり、日本人の9割近くが戦争を知らない世代となった今、平和を守り続けていくことの難しさやその尊さを次世代へ伝えていくために、暮らしの中の身近なテーマをもとに対話の場を持つことで、一人ひとりが自分の課題として気づきを得る。	木下理仁（東海大学国際学部国際学科非常勤講師） 茂木ちあき（児童文学作家） 本保佐季子（ステンドグラス作家） 安田菜津紀（認定NPO法人 Dialogue for people 副代表、フォトジャーナリスト）
4	谷戸	子育て中の人のための講座（保育付き） 絵本がつなぐあなたとわたし ～手作り絵本があなたの子育てを楽しく豊かなものにかえていく～	1	10月1日から12月10日 水曜日及び10月18日 土曜日 10時から12時 全12回 ※保育説明会 9月24日（水曜日）	絵本作りでは、ストーリーを創り読み聞かせをすることで自分自身と向き合い自己理解へつなげる。子供の成長に適した絵本に触れ、そこに描かれている平和について学ぶ。地域の仲間と知り合い、学びを通じて交流する場を作る。	林由美子（谷戸図書館地域館長） 松方路子（ちひろ美術館・東京アソシエイト主任学芸員） 小川こころ（文筆家、元新聞記者、文章スタジオ東京青猫ワークス代表）
5	ひばりが丘	上映会 「わが母の記」	1	10月6日 月曜日 10時から13時	「わが母の記」は認知症となった母と、自身の幼少期の記憶と向き合いながら母を受け入れようとする息子の姿を描く。視聴により認知症患者への理解を促すとともに、介護する家族の戸惑いや、受容までの過程を間接経験する。視聴後意見交換会を行い、気づきや学びを深める機会とする。	

6	保谷駅前	人権講座 多様性を大事にする社会に向けて ～だれもが幸せに～	2	9月20日から 10月11日 土曜日 10時から12時 全4回	人が幸せに生きる当たり前の権利、「人権」の重要性を再認識し、自分ごととして捉え、差別や偏見のない人権尊重社会を築くことを、参加者同士と一緒に学び合う機会とする。	浅野由子（日本女子大学 家政学部 児童学科准教授） 宮谷真紀子（CLEAR JAPAN代表） 上瀬由美子（立正大学 心理学部教授） 宇佐照代（AYNU RUTOMTE代表）
7	保谷駅前	多文化共生講座 Ⅰ ワークショップ、映画を通して難民・避難民問題を考える Ⅱ 私たちが身近に始められること ―やさしい日本語を学ぼうー	2 3	パートⅠ 10月4日、11日 パートⅡ 11月15、22日、12月13日 土曜日 14時から16時 全5回	Ⅰ ワークショップや映像を通して避難民・難民問題、平和の大切さへの理解を深める。 Ⅱ 「地域の共通語」として「やさしい日本語」に着目し、概念、使い方を学ぶことで多文化共生を地域で自分にできる行動を考える、という2つのパートにわけで行ない、多文化共生社会形成のために自分たちが取り組めることについて考える。	天沼耕平（国連UNHCR協会職員） 別當紀人（ウクライナ避難民当事者・通訳者） 西東京市文化振興課担当者 NPO法人西東京市多文化共生センター相談員 庵功雄（一橋大学国際教育センター教授）